

♪ 2024年度 **poco a poco** ♪

Nr. 10 2024年9月5日(木)

文責:プファイル・辰巳

## 9月は...

立秋はとうに過ぎ、暦の上では秋ですが、日本では残暑に台風、ドイツでも日中の日差しはまだまだ厳しい日もありますね。17日には中秋の名月も見られるのでしょうか。小学部6年生は、その日に修学旅行に出発します。例年同様、辰巳も同行させていただきます。楽しみです。



## 音楽こぼれ話 <世界にひとつだけの...>

私が普段から使わないように心がけている言葉の一つに「きれいな声」というのがあります。人間の声は姿形と同じで、一人一人違って、きれいじゃない声はないと思っているからです。「きれいな声でうたいましょう。」なんて言われても、どんな声が「きれい」なのでしょう。人の声を聞いて「きれいだな」とか「心地よいな」と思うのは主観的なものです。

時々、頭声(いわゆる裏声)をきれいな声と勘違いしている人がいますが、そうすると日本の民謡の歌手さんや演歌歌手の方々とは胸声(いわゆる地声)で歌う方が多いので、きれいじゃない声になってしまいます。実際には民謡や演歌の世界にも、訓練された素晴らしい声で歌える方がたくさんおられます。発声の方法が、いわゆる西洋のクラシック音楽の場合と少し違っているというだけのことです。

そうなのです、この「発声方法」が問題なのです。持って生まれた自分の声は千差万別。それは「世界にひとつだけの花」ならぬ「世界にひとつだけの声」なのです。だから、みなさんにはまず、自分の声を好きになってもらいたいです。そして無理せず気持ちよく声を出せるようになったら、その声を聞いた人も、きっと心地よくなるのでは

ないでしょうか。

では、どうすれば気持ちよく声が出せるようになるのでしょうか。それには、声の出る仕組みを簡単でいいので知っておくとよいでしょう。楽器の練習を始める時と同じです。みなさんの身体そのものが楽器なのです。

声を出すときは、肺から送られてきた空気、のどにある声帯を震わせて発声しています。声帯も筋肉なので、訓練していろんな高さの声や音色を出せるように練習することができます。次に、出てきた声を、体のあちこち(例えば鼻腔、口腔、頭蓋骨など)にある空間に響かせる訓練をすると、さらに声にボリュームが出たり、響きの豊かな声になったりします。

最後は発音です。歌には歌詞があって母音や子音の出し方がそれぞれの言語で異なります。これも唇や舌の使い方を訓練して、正しい発音にすることができます。その他にも、歌う時の姿勢から、呼吸の仕方など、練習する事柄はたくさんありますが、歌うことを楽しむためには、何はともあれ、たくさん声を出すことです。鼻歌でもカラオケでもいい、いろんな曲を声に出して歌ってみてください。音楽室では、大きな声で歌っても大丈夫です。みんなで歌えば怖くない!

こうしていろんな曲を歌っているうちに声帯が鍛えられ、男性も女性も思春期を過ぎるころから、世界にひとつだけの自分の声 that 定着します。ナンバーワンにならなくてもいい、元々特別なオンリーワン! みなさんの声はみんな、みんなステキです!

## ちょっとだけ 演奏会情報

夏休みが終わって、いよいよコンサートシーズンの始まりです。楽しんでください。



## アルテオーパーの催し物 FRATOPIA

期日 9月24日~9月28日の5日間  
時間 毎日15時から24時まで  
入場 無料

※上記の期間、アルテオーパー内は出入り自由となり、館内で催される200以上の短いコンサートを聴くことができるそうです。

詳しくは [www.alteoper.de/fratopia](http://www.alteoper.de/fratopia)